

RAKU^[らく]

楽友会ってこんなトコ



理事長新年の挨拶

■ 特 集

新年祝賀会

■ 新春企画

『自宅で役立つ介助』

法人ホームページ <https://www.rakuyuukai.com>

法人 Facebook <https://www.facebook.com/rakuyuukai1968>

社会福祉法人 楽友会 広報誌

CONTENTS

事業紹介	2
常務のつぶやき	3
理事長新年のあいさつ	4
特集 新年祝賀会	5
新春企画 『自宅で役立つ介助』	6
栄養士‘sキッチン	8



表紙イラスト
白楽荘介護職員 高橋俊一郎

常務のつぶやき 日々雑感

現在、岸田内閣による介護の現場で働く人たちの賃金を引き上げる動きが注目されています。まだ正式な通知等では確認できていませんが、どうやら本年2月から介護職の処遇改善への取り組みが開始される予定です。

過去にも、介護保険ではサービス提供の対価として事業者を支払われる介護報酬に介護職員対象の処遇改善加算が設けられ、介護の現場で働く人たちの処遇改善は進められてきました。

ところが、これまでの処遇改善はほぼ介護職に限定したものばかりで、制度上その財源を他の職種、例えば相談員や看護師や事務員や厨房職員等への給与改善に十分に使うことが出来ませんでした。さらに、処遇改善の対象となる施設は介護保険事業所に限られ、例えば養護老人ホームや軽費老人ホームなどでは介護職員であっても全くの対象外です。今回検討されている処遇改善も今までと同様に介護保険事業所の主に介護職を対象としているようです。

「早く行きたければ一人で行け、遠くへ行きたければみんなで行け」これは岸田首相が先日の所信表明演説で述べられた言葉でアフリカの諺だそうです。もちろん、介護職の処遇が社会的に改善され、この仕事に自信と誇りをもって取り組めるようになることは喜ばしいことだと思います。しかし、私たち福祉・介護の現場は様々な職種がチームワークを駆使して、みんなで進む必要があるということをご理解いただければと思います。

常務理事 鶴岡 哲也

社会福祉法人楽友会の施設事業所

特別養護老人ホーム白楽荘
TEL:042-376-1811 FAX:042-371-1562

軽費老人ホーム偕楽荘
TEL:042-376-1711 FAX 042-337-0327

白楽荘デイサービスセンターえがお・ほのぼの
TEL:042-376-2942 FAX:042-376-4962

ほのぼの堀之内（認知症対応型通所介護事業所）
TEL:042-682-3186 FAX:042-682-3187

白楽荘訪問介護事業所
TEL:042-376-1866 FAX:042-376-4962

白楽荘居宅介護支援事業所
TEL:042-376-4968 FAX:042-376-4962

白楽荘居宅介護支援事業所とよがおか
TEL:042-313-7992 FAX:042-313-7993

多摩市多摩センター地域包括支援センター
TEL:042-376-2941 FAX:042-376-1815

八王子市高齢者あんしん相談センター由木東
TEL:042-689-6070 FAX:042-689-6071

法人本部（経営管理本部）
TEL:042-374-4649 FAX:042-371-1562

特集 新年祝賀会



味付けと彩にこだわったおせち料理



獅子舞による新年祈願



特別養護老人ホーム白楽荘の元旦



2022年元旦～
明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年行われていた『新年祝賀会』も縮小した形で行われました。コロナ禍でご利用者の皆さまにはご不自由をお掛けしています。その中で手作りのおせち料理膳を召し上がって頂き、細やかな催しなども行われました。

軽費老人ホーム偕楽荘の元旦



食材と豪華さを演出したおせち料理

新年祝賀会の宴



新年のご挨拶

社会福祉法人 楽友会

理事長 曾我 好男

新年あけましておめでとうございます。
皆様にはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

この2年間で、世界中が新型コロナウイルスに翻弄されてきました。楽友会におきましても様々な面で影響を受けましたが、幸いにもご利用者の皆さんに感染者を生じさせることなく介護・福祉サービスを提供してまいりました。

これもひとえにご利用者とそのご家族をはじめとして、地域や関係機関の皆様のご理解とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、本年は、「中期経営計画」の2年目に入ります。建設後25年を経過した山王下施設の大規模改修に向けて動き出します。ご利用者に快適に安心して利用していただくための環境整備を目指します。そのほか、計画に盛り込まれた「5年後の姿」を実現すべく引き続き取り組んでまいります。

ご利用者と地域の皆様が絆を深める夏の「納涼祭」や秋の「楽友祭」、ご家族とともに祝う「長寿を祝う会」もコロナ禍の中でこの2年実施できませんでした。今年こそはこうしたイベントをぜひ実施したいと願ってやみません。

3回目のワクチン接種が近々実施されることや治療薬の開発も進んでいることなど明るい兆しも見えておりますが、これに慢心することなくご利用者の安全と安心を第一に職員一同事業に取り組んでまいります。

新春企画

在宅向け介助ポイント～ep1



足は肩幅かつ前後に
開き、腰を落とす



ここが
ポイント

介助者は「お辞儀をします。」

と声を掛けながら

肩甲骨に手を添え、
斜め上に引き上げる

よう誘導することがポイントです！

2 お辞儀をするように促します



立つ方向は、真上ではありません。お辞儀をする姿勢をとる事で重心が前方に移動し、お尻が浮きやすくなります。その状態から斜め上に誘導する事で介助される側は立ち上がりやすくなり、介助者側の腰の負担も軽減します。介助者は膝を曲げて重心を低くして、足を前後に開くとより安定します。介助される側の肩甲骨に手を添えましょう！



特 別養護老人ホーム白楽荘でリハビリを担当している、作業療法士の五野です。
これから3回にわたり、在宅向け介助のポイントをお伝えしていきたいと思います。
第一回目は、『立ち上がり』の介助です。「最近、おばあちゃんが立ち上がれなくて困っている。」「立ち上がってもふらついて、転ぶんじゃないかと冷や冷やしている。」「私もおじいちゃんも年だから、立たせる時に腰が痛くて…。」等々、様々な困りごとがあると思います。
立ち上がりの介助は、“コツ”一つでより安全に、介助される側も介助する側も安心して行うことができます。

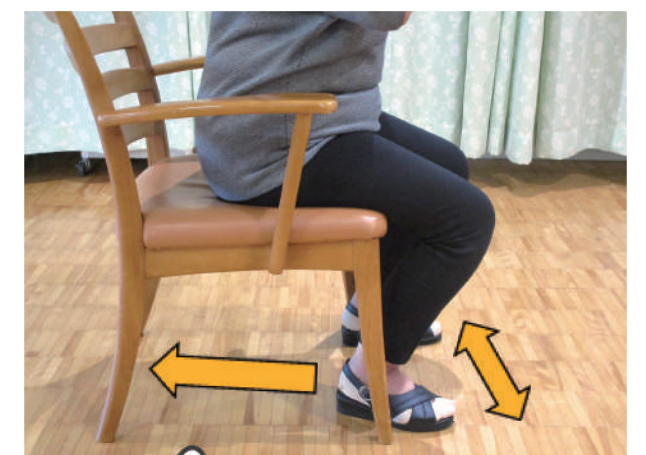
立ち上がりの介助

1 介助する側は足を肩幅に開く
介助される側も足を肩幅に広げ、足を膝より後ろに引きまます

足を閉じた状態では体をしっかり支えることが出来ず、バランスを崩しやすくなります。介助する側される側共に、足は肩幅に開くことで安定します。介助される側は、その状態で足を膝より後ろに引きましょう。



足は肩幅に開き、
腰を落とす



足は肩幅に開き、
膝より後ろに引く



いかがでしたか？
次回もお楽しみに！



なめ茸

エネルギー 191kcal / 塩分 4.9g

材料（えのき一袋分）

えのき茸	… 200g	（大一袋）
酒	… 大さじ2	
醤油	… 大さじ2	
みりん	… 大さじ2	
酢	… 小さじ1	
水	… 1/2 カップ	
顆粒だし	… 少々	
白ごま	… 適量	

作り方

- ① えのき茸は石づきを切り落として、3等分に切ります。下の部分は手ではぐします。
- ② 鍋にえのき茸と、酢以外の調味料を入れて、中火で加熱します。
煮汁が沸いてくると鍋肌のえのき茸がくっつくので、箸で落とし火を少し弱めます。
- ③ 4〜5分程加熱して、えのき茸がしんなりしたら、酢を加えひと煮立ちさせます。

栄養

きのこ類の中でもビタミンB1の含有量がトップクラス。疲労回復効果があるので、夕食に食べるのがオススメです。脂質代謝を促進するビタミンB2、肌荒れ・口内炎の緩和に役立つナイアシンが多く含まれています。

カルシウムの吸収を助けてくれるビタミンDを含むのも特徴の一つです。

食物繊維も豊富に含まれるので腸内環境を整える効果が期待できます。

水溶性のビタミンを多く含みますので煮物やスープなど煮汁ごと食べられる料理がおすすめです。